



寄付

ムーンバット株式会社様 としのぶさん家の粉様
株式会社日立製作所内一般社団法人親切会中部支部様
高橋京子様 ひろゆき様 清水剛様
石田公彦様 曹熙哲様 小楠壽典様
株式会社フレーベル館様



交流



きらめき様 菱田夫妻様 楠山農園様
紀藤信哉様 安永多嘉子様



編集後記

シロップたっぷりのかき氷をおやつの時間にほお張る
子どもたちの姿をみて癒されています。

いよいよ夏到来。最近「今日も暑いね」と、子ども
や職員同士で毎日言い合っているような気がします。今
年の夏は何回くらい子どもたちと海に行けるかな？

皆様、くれぐれも熱中症にはお気をつけ下さい。

(保育士 綿貫こころ)



連絡事項

連絡事項	
身長	cm
体重	kg

お知らせ

帰省期間

7月23日～8月15日
9月17日～9月20日
10月22日～10月24日
11月19日～11月21日



帰省については児童相談所の許可のもと、各御家庭へ
連絡しておりますので、宜しくお願い致します。尚、予
定されている帰省期間は、新型コロナウイルスの状況に
応じて変更する可能性があります。ご承知のほどお願い
申し上げます。

令和3年度 学園だより 第560号

夏号

編集・発行

川奈臨海学園

〒414-0044 伊東市川奈 509-7

TEL 0557-45-0509 FAX 0557-45-5169

E-mail rinkai-g@ninus.ocn.ne.jp

URL <http://kawana7.ec-net.jp>

待望の新施設完成

施設長 竹居昭子



無事に完成しました。新施設整備のため、多くの皆さま
まのお力が注がれましたこと、支えてくださいました皆
様に心から感謝申し上げます。

5月17日に開所式を執り行いました。コロナ禍のため
人数を限らせていただき、出野静岡県副知事様、小野達
也伊東市長様、済生会炭谷茂理事長、静岡県済生会石山
純三支部長他来賓・関係者16名の出席をいただき、短
時間での開所式となりました。子どもたちは5月15日
からユニットでの生活をスタートしました。子どもたち
の感想は、「すごくきれい。大切に使いたいです。」
「楽しい。テレビが大きい、個室が意外と広いね。」など
たいへん喜んでいきます。職員も新しいきれいな職場で仕
事ができることはこんなに気持ちのいいことかと感じまし
た。新園舎は定員36名（6人×6ユニット）で1階
には幼児低学年2ユニットと地域交流スペースや家族療
法室、子育て短期支援事業等のショートステイ用個室を
配置、2階に男女2ユニットずつを配置しています。

平成28年児童福祉法の改正で家庭養育優先原則とな
り、児童養護施設においてもより家庭に近い環境で児童
を支

援することが求められています。ユニットごとの生活が
始まり、子どもとの距離間も今までの大舎制から比べ
るとだいぶ近く感じるようになりました。ユニット化に向
けて準備を進めてきましたが、取り組んでみて見えてく
る課題も多くあります。職員の資質向上も必要です。こ
れからも職員とともに研鑽に励み、子どもたちが安心し
て生活できるよう努力を続けます。将来社会で自立でき
るよう子どもたちを育みます。

今後とも川奈臨海学園のこと温かく見守ってください。
よろしくお願い致します。



大雨による被害お見舞い申し上げます

7月3日の大雨による熱海市伊豆山の土石流発生、県
内県外各地での大雨による被害は、自然の脅威に晒され
ました。熱海市伊豆山の土石流の被害はたいへんな事態
となってしまいました。避難者の福祉的支援の求めに応
じ、当施設の静岡県 DWAT 登録員の山田善紀指導員は7
月7日から7月11日にかけて避難所となった熱海のホ
テルで被災者の方々の支援活動を行いました。

このたびの熱海市の土砂災害、県内県外各地での大雨
による被害におきまして、被災された方々に心からお見
舞い申し上げます。被災された皆様が一日も早く平穏な
生活に戻られますことをお祈り申し上げます。

(児童指導員 鈴木一大)

女子フロア

新園舎に引っ越し、2 ヶ月が経ちました。新しい建物、自分だけの部屋、ぴかぴかの風呂や洗面所、環境の変化はもちろんのこと、生活の約束も大きく変化しました。子どもたちは新しい変化に戸惑いつつも楽しみを感じながら生活に慣れることができました。

日常生活ではソファのあるリビングでテレビを見たり、ダイニングでトランプをしたりなど、室内でできる遊びを楽しんでいました。



遊びだけでなく、食事を作る様子を近くで子どもが見られることも大きな変化でした。職員が調理をしていると「こうやって作るんだ」と関心を寄せる子や「私もおうちで作ったことあるよ」と話してくれる子もいます。また、キッチンにいとそばにずっと寄って来て「今日学校でこんなことあってさ」と話し出す子もあり、改まって話すことが苦手な子にはちょうど良い距離感で喋れるんだな、と感じました。

これから夏休みに向けて何をして遊ぼうか、お出掛けは出来るのか、子どもたちと計画を立てていくのを楽しみにしています。

(児童指導員 石井結希)



幼児・低学年フロア

新品のお部屋でも、変わらず元気いっぱい。大舎から新舎に引っ越してから、幼児ユニットと低学年ユニットの子どもたちの初めてのお出掛けは、ボランティアさん達との苺狩りでした。ワクワクしながら当日を迎え、いちごハウスのある敷地に到着。待ちきれない気持ちを押さえて元気にご挨拶をし、お話を聞いた後は早速ハウスの中へ。棚栽培の綺麗な苺がたくさん並ぶ中を、とっても嬉しそうに歩きながら苺を摘み、こんなに真っ赤だよ！ 大きいの見つけたよ！ たくさん取れたよ！ これ、甘～いよお♡ 美味しいね!!って、ニコニコでした。

持ちきれないほどの苺を頂いた後は、土手の上の大きな琵琶の木から、琵琶の実を取らせて頂きました。「ほら、取ってごらん」と言われ、土手を這い上がって枝に手を伸ばそうとするのですが、ずるずるずる一と急な斜面を滑り落ちてしまいます。琵琶の実を取りたいけど取れない、でも登るを繰り返し、泥だらけになりながら、枝から実をもぎ取って食べた思い出は、笑顔と共にきっと忘れないでしょう。美味しいお土産とたくさんの思い出、嬉しかったね🍓

(児童指導員 石川紀美子)



(2)

男子フロア

新園舎での生活について2 ヶ月が経ったところで、子どもたちに聞いてみました。

「嬉しかった事、良かった事」は「個室が出来た事」「ご飯が出来立てになったこと」「テレビが大きくなったこと」「お風呂がきれいになったこと」「新しくやってみたい事」は「道具を使って掃除してみたい」「ご飯を作ってみたい」「動物を飼ってみたい」「ユッケを食べてみたい」

2 か月前同じ質問をすると、みんな困ったように笑っていました。大きく変わった生活様式に戸惑っていたように感じます。



職員と一緒に洗濯をしてみたり、夕食後にスポーツ中継で盛り上がりたり、目の前でおやつを作ってもらったり、話し声や足音がうるさくて隣の部屋から怒られたり、私たちが経験した当たり前を経て、それぞれが理想の生活を想像できるようになりました。

夕飯を終えて一息ついた職員に高校生が、広告から切り取ったコーヒーのクーポンをずっと差し出していました。言葉数の少ない彼なりの労いだったと思います。頼もしい男子ユニットの、優しい一面が見られる環境を嬉しく思います。

(保育士 後藤圭介)



わかな

1 学期も終盤に入り、もうすぐ梅雨が明け夏休みが近づいてきました。

新型コロナウイルスの影響もあり、どこにも出かけられないので昨年も行いましたが、ゴールデンウィークにわかなの庭で BBQ をしました。炭火で焼くお肉はとてもおいしかったです。子どもたちも「おいしい」とお肉や野菜をたくさん堪能していました。おやつは、焼きマシュマロ。マシュマロを炭火近くで焼くと中がとろとろして甘くておいしく、子どもたちも喜んでいました。

また、海水浴も行けるようであれば子どもたちの夏休みの宿題を早く終わらせてたくさん行きたいなと思っています。

子どもたちは4月から学年が1つ上がり、始めは慣れない環境の中の生活で部活動や塾など大変であったと思いますが、じめじめとした暑さに負けずに頑張っています。子どもたちのパワーに負けずに私も元気に頑張っていきたいと思います。

(児童指導員 上村紗矢)



(3)